

ひきこもり 家族にできること

～ひきこもり経験者の立場から～

家族にできることって、どんなこと？

ひきこもりは悪いこと？

OKワード、
NGワード？

最近、「ひきこもり」ということばが、ともすると「犯罪者予備軍」と受け取られかねないように認識されています。学校や社会などの集団生活への違和感、人間関係への不信感、自己否定感から、ひきこもらざるをえなくなった当事者たちの心を理解するために、自らがひきこもり経験者である林恭子さんをお迎えして、家族にできることを一緒に考えます。

日時：10月26日（土）

14：00～16：00（受付13：30～）

会場：麻生区役所4階 第1会議室

参加無料

対象／定員：関心のある方150名（先着順・定員になり次第、募集は終了）

*当日席もご用意しています

申込：電話、FAX、来館、HPにて（住所、氏名、電話番号、FAX番号を記入）

電話044-951-1300、FAX044-951-1650



講師：林恭子（はやし・きょうこ）さん

一般社団法人ひきこもりUX会議代表理事／新ひきこもりについて考える会
世話人／ヒッキーネット事務局／NPO法人Node理事

高校2年で不登校、20代半ばでひきこもりを経験する。信頼できる精神科医や
同じような経験をした仲間達と出会い少しずつ自分を取り戻す。現在はNPO
法人に勤務しながらイベント開催や講演などの当事者活動をしている。